



株式会社大庄

平成30年8月期第2四半期

決算説明資料

平成30年4月19日

板前による、こだわり和食。



DAISYO CORPORATION



I. 30年8月期の経営戦略及び具体的施策

II. 30年8月期第2四半期決算の概要

1. 連結業績の内訳	12	6. 連結特別損失の内訳	18
2. 新規出店・改装店実績	13	7. 連結貸借対照表(B/S)	19
3. 都道府県別 グループ店舗数	14	8. 連結キャッシュ・フロー	20
4. 売上高	15-16	9. 関係会社の状況	21
5. 販売費及び一般管理費の内訳	17		

III. 今後の経営計画及び具体的施策について

10. 30/8期 通期計画(連結ベース)	23
11. 30/8期 店舗計画	24
12. 30/8期 計画骨子(下半期及び通期)	25
13. 30/8期 中期経営計画(連結ベース)	26

～ 26年1月よりスタートした「業務構造改革」の締めくくりの期 ～

1. 店舗リストラクチャリングの推進

⇒ 30年8月期は、リストラ最終年度として **新店25店舗、改装50店舗、閉店30店舗**の見通し

(1) 新しい「専門店」展開については、立地環境にマッチした最適業態で出店

→ 業態別の出店数目標は設けず

2. 店舗業態ポートフォリオの充実化

(1) 『庄や』『日本海庄や』の原点回帰

→ 当社の“フラッグシップ”としてリブランディングを図る

→ “板前”による“手作り料理”の強みや、“社内調理技術研修”の充実、“大庄基準”による衛生管理の徹底などを再度アピールしていく

(2) 既存業態では『大庄水産』『築地日本海』『満天酒場』の出店を強化

(3) 「専門店」業態で開発した食材メニューのシナジー効果を追求

(4) 大型店舗はレイアウトを分割し、「小規模多機能」店舗への転換を推進

→ 『立川』、『三鷹』、『新宿』に続き、『下関駅前(3業態)』を出店(4月11日)
今後、『武蔵小金井(3業態)』などに出店予定

3. 「新物流センター」の基本構想

(1) 概要

①名称：『DS・L・ヘッドクォーター羽田』

②完成予定：平成30年4月末(引渡し)
→ 7月中旬稼働予定

③場所：東京都大田区東糀谷6-1-27

④敷地面積：2,538坪、建築面積：1,200坪、延床面積：4,193坪
→ 現在「品川物流センター」(1,341坪)に比べて約3倍のキャパシティ

⑤事業施設

- ・1～2階：「商品本部」による食品卸業、(株)ディ・エス物流による運送業
- ・3階：(株)米川水産による鮮魚仲卸事業並びにマグロ加工業、(株)ディ・エス物流による冷凍保管並びに3PL物流事業
- ・4階：食品衛生研究所、ミヤビ製パン及び製麺工場、食器・調理備品販売、調理室・キッチンスタジオ、大ホール(500人収用)

(2) 事業ビジョン

- ① 目的は、外食産業のさらなる進化、日本食文化の継承を促す「プラットフォーム」の確立
- ② 当社こだわりの品質担保した鮮度の高い鮮魚・野菜など、“安心安全な商品レパートリー”を競争力ある安定価格で提供する卸売機能と、鮮魚仲卸、マグロ加工、3PLによる野菜仲卸、運送といった物流機能の集約化によるシナジーを発揮
⇒ 外部の飲食店舗への「卸売事業」の拡大を目指す
- ③ 当社がこれまで培ってきた店舗運営ノウハウ、衛生管理ノウハウやメニュー開発及びレシピ提供、食器や調理備品類の販売、店舗設計や営繕、従業員教育から事務代行までの社内リソースを外部の一般飲食店様にも提供
⇒ “飲食店のコンビニ機能をもったディストリビューター(供給業者)”となる

(3) 物流機能

- ① 「トラックバース」27台(現状8台)と大幅拡大とともに、24時間フル稼働体制を実現
- ② 冷凍庫・冷蔵庫のキャパシティ増大、ピッキング作業場の拡大により作業効率が向上
- ③ 倉庫とトラック荷室がフラットとなる高床倉庫化にて積込作業が効率化
- ④ 10℃で定温管理された荷捌き場にて、入荷から保管、出荷までのコールドチェーンを担保

(4) ITシステム機能

① 「WMS(倉庫管理システム)」による業務運営

⇒ ハンディ機器によるバーコード商品管理並びにロケーション管理により、
庫内作業の精度向上、標準化、省力化を実現

② 最新鋭の「マテハン(庫内搬送・仕分け)機器」を導入

⇒ “コンベア”による出荷コンテナの自動搬送により、荷役作業の省人化、
ピッキングから出荷までの迅速化を実現

4. その他強化施策

(1) 「庄やグループボランタリーチェーン(VC)制度」を積極的に推進

→ 今期末で15店舗の見込み

(2) 「インバウンド事業」のさらなる強化

→ 売上構成が60%超の地方店舗も

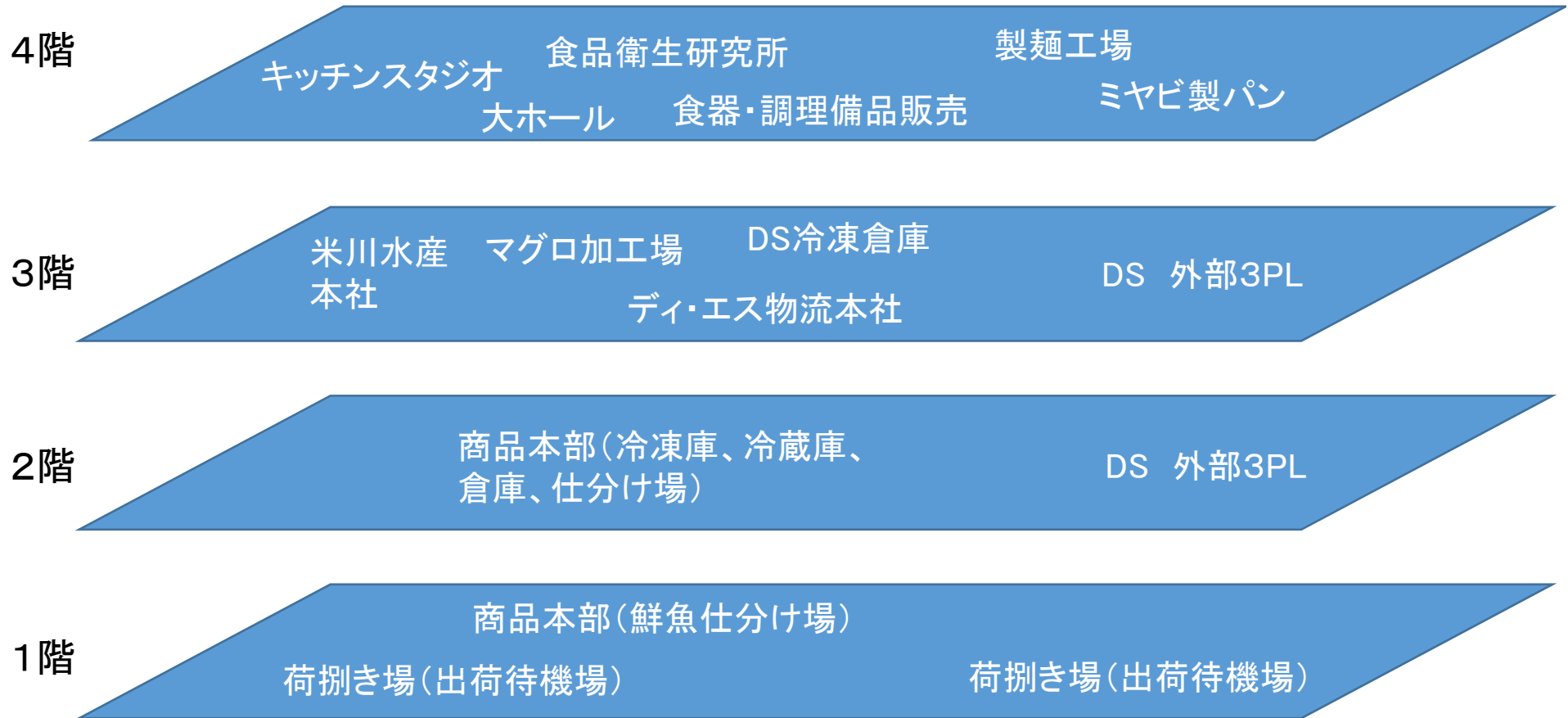
→ 中国最大の電子決済サービス「アリペイ」を導入

※ご参考

～ 『DS・L・ヘッドクォーター羽田』
の画像紹介



新物流センター内の事業施設

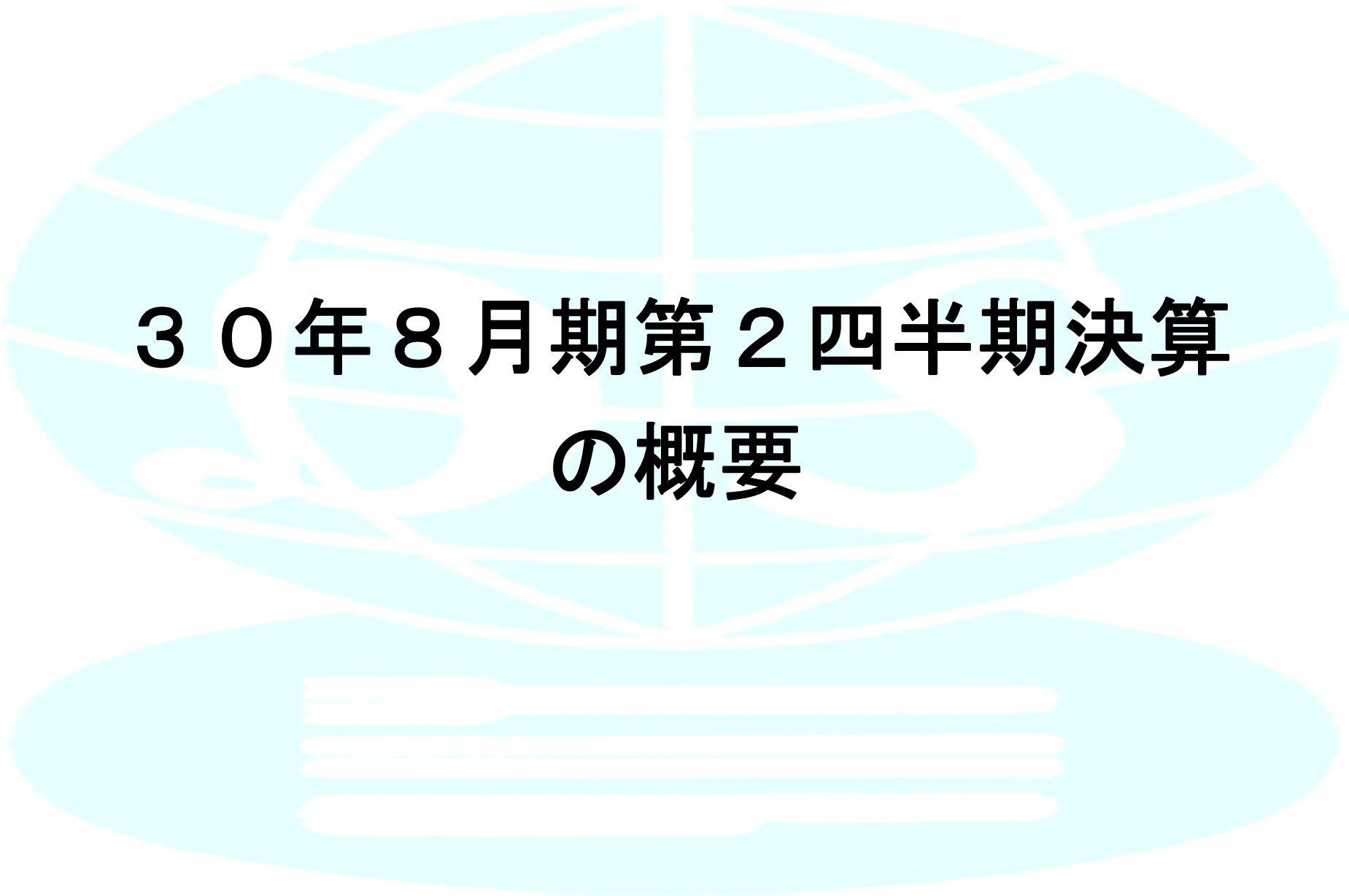


【主要設備】

トラックバース27台、3.5 t エレベーター3機、垂直搬送機3機
自動コンテナ洗淨機、2F～1Fコンベア、ロータリーラック







30年8月期第2四半期決算 の概要

1. 連結業績の内訳

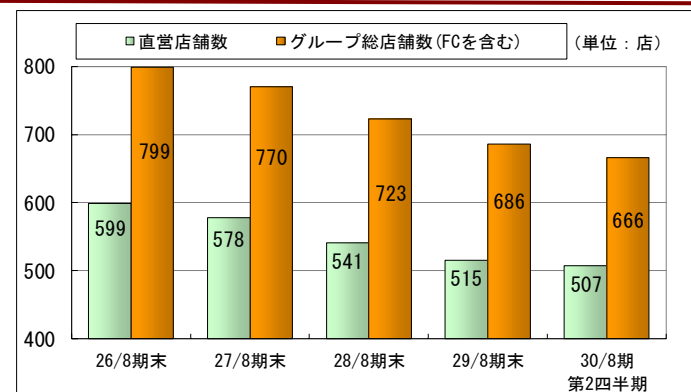
DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成29年8月期 第2四半期実績		平成30年8月期 第2四半期実績		増減額	
		構成比		構成比		比率差
売上高	32,256	100.0%	30,627	100.0%	▲1,628	—
売上原価	12,341	38.3%	12,159	39.7%	▲182	+1.4%
販売費及び一般管理費	19,720	61.1%	18,387	60.0%	▲1,333	▲1.1%
営業利益	194	0.6%	81	0.3%	▲112	▲0.3%
営業外収益	45	0.1%	49	0.2%	3	+0.1%
営業外費用	38	0.1%	50	0.2%	12	+0.1%
経常利益	201	0.6%	81	0.3%	▲120	▲0.3%
特別利益	5	0.0%	78	0.3%	73	+0.3%
特別損失	162	0.5%	288	0.9%	125	+0.4%
税引前四半期純利益	44	0.1%	▲128	▲0.4%	▲172	▲0.5%
法人税等	146	0.5%	120	0.4%	▲25	▲0.1%
法人税等調整額	▲31	▲0.1%	3	0.0%	35	+0.1%
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	0.0%	5	0.0%	▲2	▲0.0%
四半期純利益	▲77	▲0.2%	▲257	▲0.8%	▲180	▲0.6%

2. 新規出店・改装店実績

	30/8期 第2四半期
新規出店	7
店舗改装	26
閉店	15



業態別明細

	29/8期	新規出店	改装	業態転換による改装		閉店	譲渡	30/8期 第2四半期	増減
				増加	減少				
庄や	172		1	7	▲3	▲4	※ ▲1	171	▲1
日本海庄や	92			1	▲6	▲3		84	▲8
かか・ファンタジー	37		1	2				39	+2
大庄水産	37			4		▲3		38	+1
やるき茶屋	35				▲5	▲3		27	▲8
とり家 ぬび寿	19	1		1				21	+2
かか・歌うんだ村	15				▲2			13	▲2
築地日本海	12		1	2		▲1		13	+1
RUMP CAP	8	2		2				12	+4
築地寿司岩	10							10	0
塩梅	10							10	0
羊肉酒場 悟大	10	2			▲2			10	0
呑兵衛	7			1				8	+1
かか・Flat	4							4	0
もつ鍋 お多福	3			1				4	+1
その他	44	2		2	▲5			43	▲1
大庄合計	515	7	3	23	▲23	▲14	※ ▲1	507	▲8

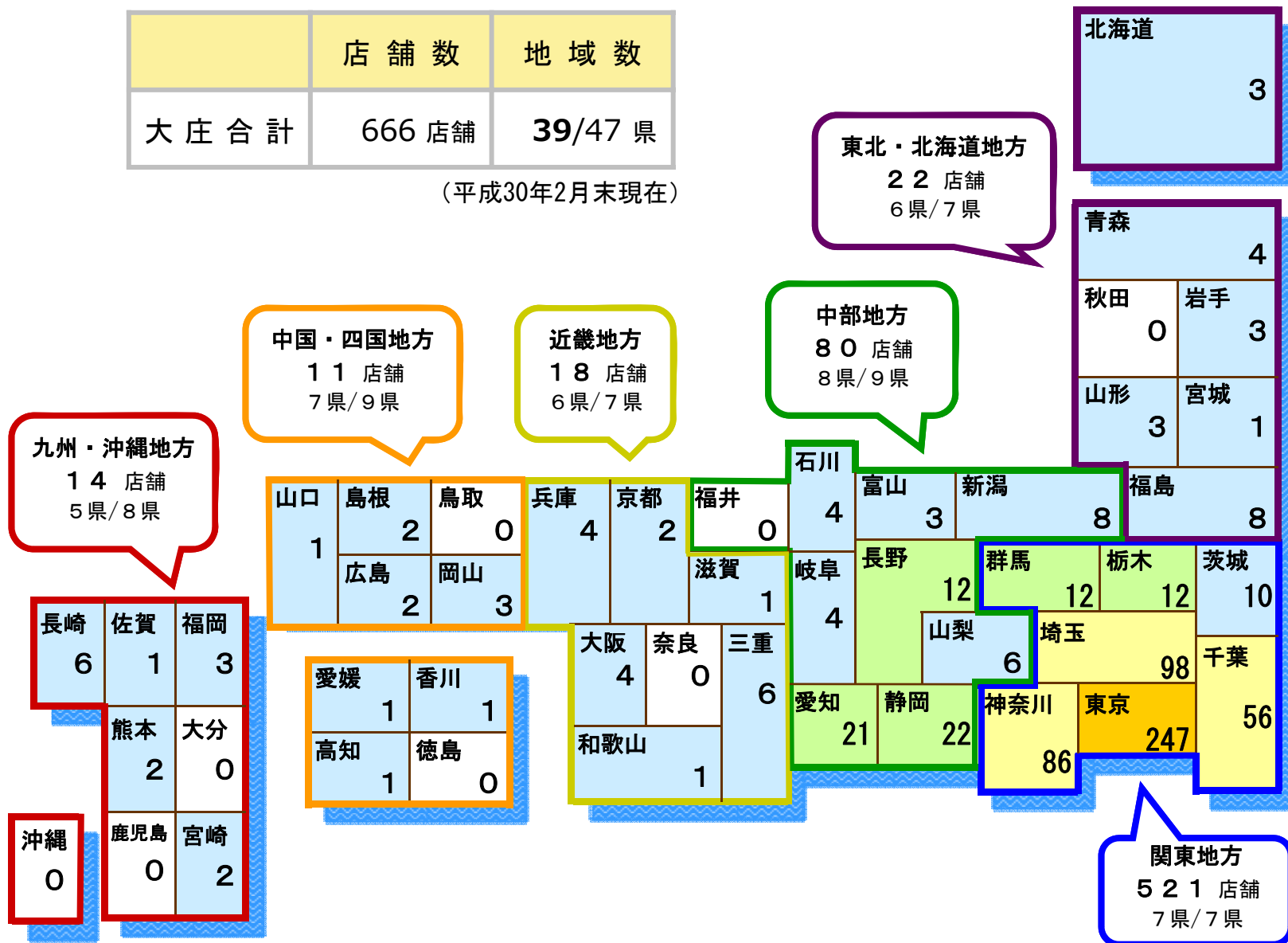
※ 閉店（譲渡）には「VC(ボランティアチェーン)加盟店」への転賃を含みます。

3. 都道府県別 グループ店舗数

	店舗数	地域数
大庄合計	666店舗	39/47県

(平成30年2月末現在)

0店舗
1~10店舗
11~30店舗
31~100店舗
101~店舗



4. 売上高

(1) 既存店売上高（対前年比）

<前年比実績推移表>

	28/8期	29/8期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	30/2期計	3月
売上高	99.8%	98.5%	98.5%	93.0%	99.3%	99.8%	96.5%	96.1%	97.3%	101.6%
客数	98.0%	97.9%	99.0%	92.4%	98.3%	99.7%	96.3%	96.2%	97.0%	101.0%
客単価	101.8%	100.6%	99.5%	100.7%	101.0%	100.1%	100.3%	100.0%	100.3%	100.6%

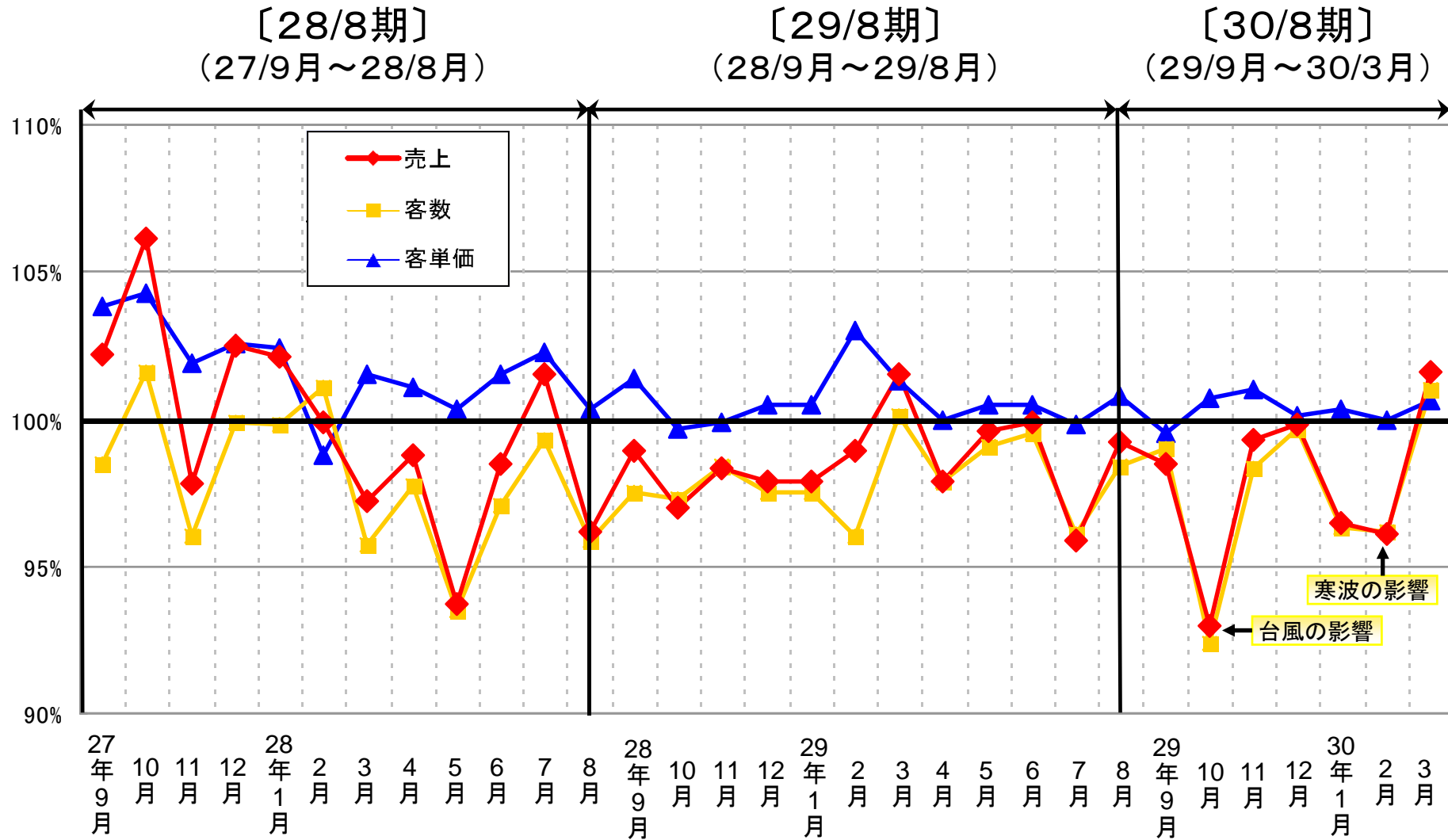
<カテゴリー別前年比実績>

	昼	宴会	夜フリー	30/2期計
売上高	99.7%	94.4%	97.4%	97.3%
客数	97.6%	95.5%	96.9%	97.0%
客単価	102.2%	98.9%	100.4%	100.3%

<カテゴリー別売上構成比>

	昼	宴会	夜フリー
28/2期計	13.5%	13.8%	72.7%
29/2期計	15.1%	13.2%	71.7%
30/2期計	15.4%	12.3%	72.3%
前期増減率	+0.3%	▲0.9%	+0.6%

(2) 既存店売上高・客数・客単価の前年比月別推移表



5. 販売費及び一般管理費の内訳

【単位：百万円】

	平成29年8月期 第2四半期実績		平成30年8月期 第2四半期実績		増減額	
		対売上比率		対売上比率		比率差
人件費	10,835	33.6%	10,204	33.3%	▲631	▲0.3%
地代家賃	3,240	10.0%	3,075	10.0%	▲164	▲0.0%
水道光熱費	1,378	4.3%	1,331	4.3%	▲47	+0.0%
販促・広宣費	722	2.2%	473	1.5%	▲248	▲0.7%
減価償却費	699	2.2%	658	2.1%	▲41	▲0.1%
消耗備品費	634	2.0%	620	2.0%	▲13	+0.0%
衛生費	429	1.3%	396	1.3%	▲32	▲0.0%
その他	1,780	5.5%	1,627	5.3%	▲153	▲0.2%
販売費及び一般管理費	19,720	61.1%	18,387	60.0%	▲1,333	▲1.1%
営業利益	194	0.6%	81	0.3%	▲112	▲0.3%

6. 連結特別損失の内訳

【単位：百万円】

項目	29/8期 第2四半期	30/8期 第2四半期	増減	備考
固定資産除却損	87	158	70	
減損損失	40	51	11	
事業支援損	—	39	39	
店舗関係整理損	31	31	0	
閉店損失引当金繰入額	3	6	3	
特別損失	162	288	125	

7. 連結貸借対照表 (B/S)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	29/8期	30/8期 第2四半期	増減額
流動資産	15,532	16,927	1,394
現預金	11,657	13,185	1,528
売掛金	1,938	1,797	▲140
棚卸資産	653	710	56
短期繰延税金資産	367	412	44
その他	916	821	▲95
固定資産	23,717	24,767	1,050
有形固定資産	12,254	13,464	1,209
無形固定資産	1,500	1,601	101
敷金・保証金	9,481	9,259	▲221
長期繰延税金資産	59	7	▲52
その他	421	435	13
繰延資産	—	18	18
資産合計	39,250	41,713	2,463

	29/8期	30/8期 第2四半期	増減額(率)
有利子負債	6,547	9,452	2,905
現預金	11,657	13,185	1,528
NET有利子負債	▲5,109	▲3,733	1,376
自己資本比率	56.8%	52.5%	▲4.4%
有利子負債依存度	16.7%	22.7%	+6.0%

	29/8期	30/8期 第2四半期	増減額
負債合計	16,763	19,640	2,876
買掛金	1,972	1,723	▲248
未払金	2,414	2,072	▲342
借入金(長短)	6,517	8,552	2,035
社債	30	900	870
リース債務	212	154	▲58
資産除去債務(長短)	1,388	1,366	▲21
賞与引当金	390	665	275
役員退職慰労引当金	305	230	▲75
その他	3,532	3,974	442
純資産合計	22,486	22,073	▲412
株主資本	22,148	21,725	▲422
資本金	8,626	8,626	—
資本剰余金	9,908	9,908	—
利益剰余金	4,216	3,793	▲422
自己株式	▲602	▲602	▲0
その他包括利益累計額	149	158	8
非支配株主持分	188	189	1
負債・純資産合計	39,250	41,713	2,463

8. 連結キャッシュ・フロー

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成29年8月期 第2四半期	平成30年8月期 第2四半期	増減額
1. 営業活動CF	▲167	1,152	1,319
税引前利益	44	▲128	▲172
減価償却費	701	674	▲27
減損損失	40	51	11
賞与引当金増減額	288	275	▲13
役員退職慰労引当金の増減額	▲575	▲75	499
その他引当金純増減額	42	▲12	▲55
法人税等	▲789	▲147	641
その他営業CF	79	514	435
2. 投資活動CF	▲1,575	▲2,286	▲711
有形固定資産の取得による支出	▲1,370	▲2,131	▲761
有形固定資産の売却による収入	32	13	▲18
敷金・保証金の差入・回収純増減額	57	163	106
その他投資CF	▲294	▲332	▲38
※ フリーキャッシュ・フロー	(▲1,743)	(▲1,134)	(608)
3. 財務活動CF	1,492	2,661	1,169
長短借入金の純増減額	1,844	2,035	190
社債の純増減額	▲90	850	940
リース債務の返済支出	▲95	▲58	37
配当金の支払額	▲166	▲164	1
その他財務CF	▲0	▲1	▲0
4. 現金及び現金同等物に係る換算差額	3	—	▲3
5. 現金及び現金同等物の増減額	▲247	1,527	1,774

9. 関係会社の状況

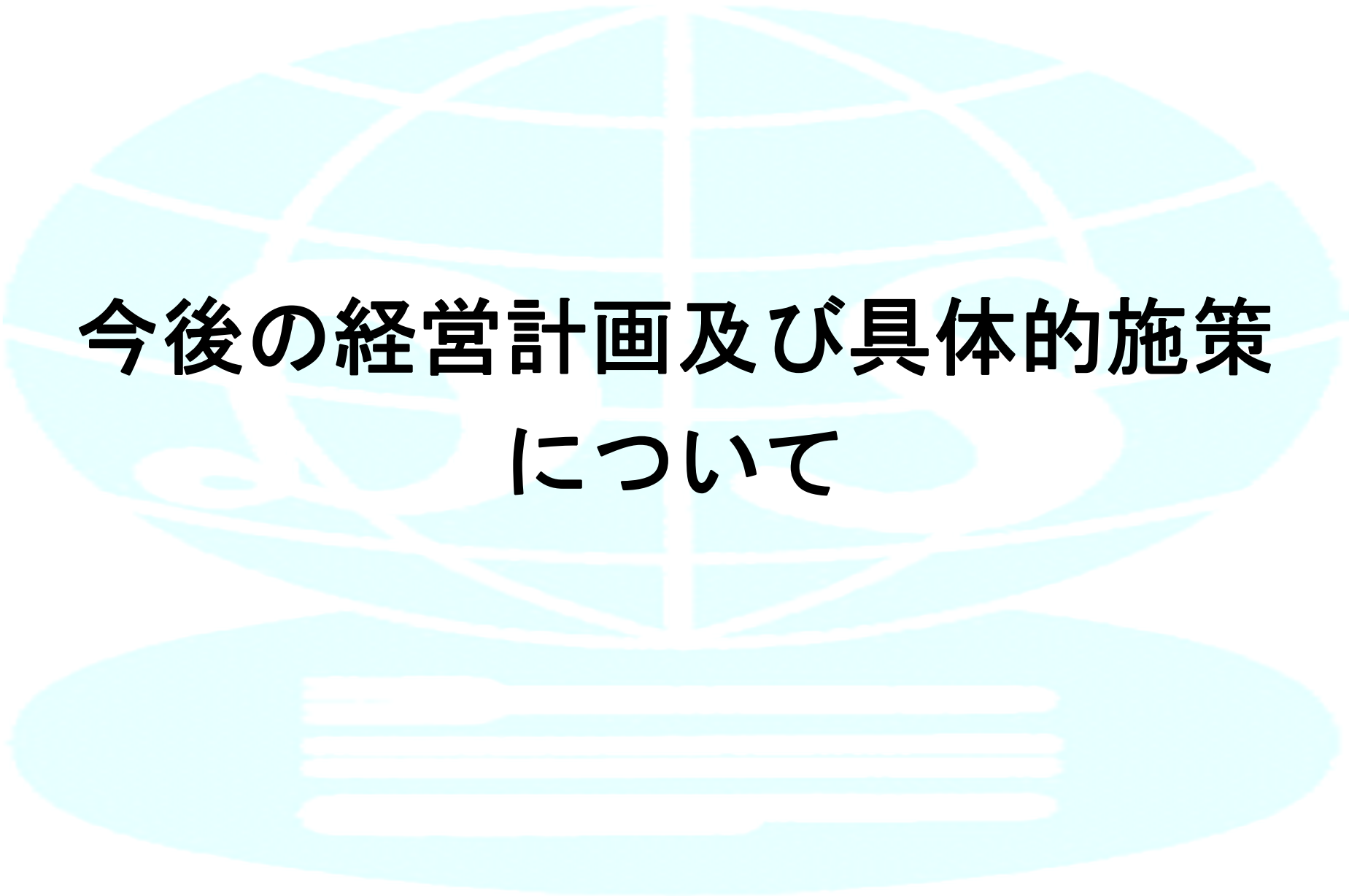
➤ 連結子会社

(単位：百万円)

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	30/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備 考
米川水産(株)	生鮮魚介類等の 卸売業	東京都 中央区	90	2,069	100.0%	・築地市場での買参権を保有 ・外販部門の営業を強化
(株)ディ・エス物流	食材等の配送業	東京都 中央区	99	3,594	100.0%	・グループ店舗へ食材等を毎日一括配送 ・外部取引先への配送業務を強化中
(株)アサヒビジネス プロデュース	不動産賃貸管理 飲料販売	東京都 中央区	60	277	75.0%	・ソーシャルビルの転貸業務が柱 ・グループ店舗中心に「害虫駆除」事業を拡大中
新潟県佐渡 海洋深層水(株)	飲料水等の 製造・販売	新潟県 佐渡市	96	142	100.0%	・海洋深層水を利用したミネラルウォーターのOEM製造
(株)ミッドワーク	業務用空調機の 洗浄・修理	千葉県 柏市	10	29	80.0%	・業務用エアコン洗浄及びメンテナンス業務等

➤ 持分法適用関連会社

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	30/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備 考
(株)エム・アイ・ プランニング	酒・飲料等の卸売・ 配送業	東京都 葛飾区	10	944	20.0%	・当社並びにF C店舗に酒・飲料等を卸売・配送



今後の経営計画及び具体的施策 について

10. 30/8期 通期計画(連結ベース)

(単位：百万円)

	29/上期 実績	30/上期 実績	増減	29/下期 実績	30/下期 計画	増減	29/8期 実績	30/8期 通期計画	増減
売上高	32,256	30,627	▲1,628	31,700	31,872	171	63,957	62,500	▲1,457
営業利益	194	81	▲112	254	598	343	448	680	231
経常利益	201	81	▲120	180	598	418	382	680	297
当期純利益	▲77	▲257	▲180	▲360	357	718	▲438	100	538

11. 30/8期 店舗計画

(1) 新規出店

	30/上期 実績	30/下期 計画	30/8期 通期計画
連結	7 店舗	18 店舗	25 店舗

(2) 改装店舗

	30/上期 実績	30/下期 計画	30/8期 通期計画
連結	26 店舗	24 店舗	50 店舗

(3) 閉店

	30/上期 実績	30/下期 計画	30/8期 通期計画
連結	15 店舗	15 店舗	30 店舗

(1) 設備投資

- ① 店舗構造改革の最終年度として「改装50店舗」及び「新店25店舗」を計画
- ② 新物流センターの竣工(平成30年4月末引渡し)、移転

(2) 利益計画の骨子

- ① 売上高
 - ・「既存店売上計画」、下期は前年比100%で策定、通期98.6%(上期97.3%)
→ 3月は100%をクリア
- ② 原価・販管費
 - ・「売上原価率」は、下期38.8% 通期39.2%を見込む
 - ・「販管费率」は、上期は前年同期比 ▲1.1%と低下トレンドにある
→ 下期59.3%(前比▲1.4%)、通期59.7%(前比▲1.2%)を見込む
→ 人件費、販促費、減価償却費を中心に低減効果を見込む
- ③ 前期の改装店・新店のオペレーション安定化に伴う収益力向上を図る
- ④ 店舗閉鎖(前期40店舗、及び今期30店舗計画)に伴う収益改善効果
- ⑤ 一方、今期改装(50店舗)における改装期間中の売上減少や新店も含めた消耗備品費その他の経費の一時増加、店舗運営の立ち上がりまでの営業損失なども織り込む

(3) 経営管理システム革新

- ① 新システムによる生産性向上を目指す ~ 前期に新会計・新人事システムをスタート
- ② 新しい「基幹システム」は今期1月に稼働開始
→ 7月中旬稼働予定の新物流センターにおける「倉庫管理システム」とも連携

13. 中期経営計画（連結ベース）

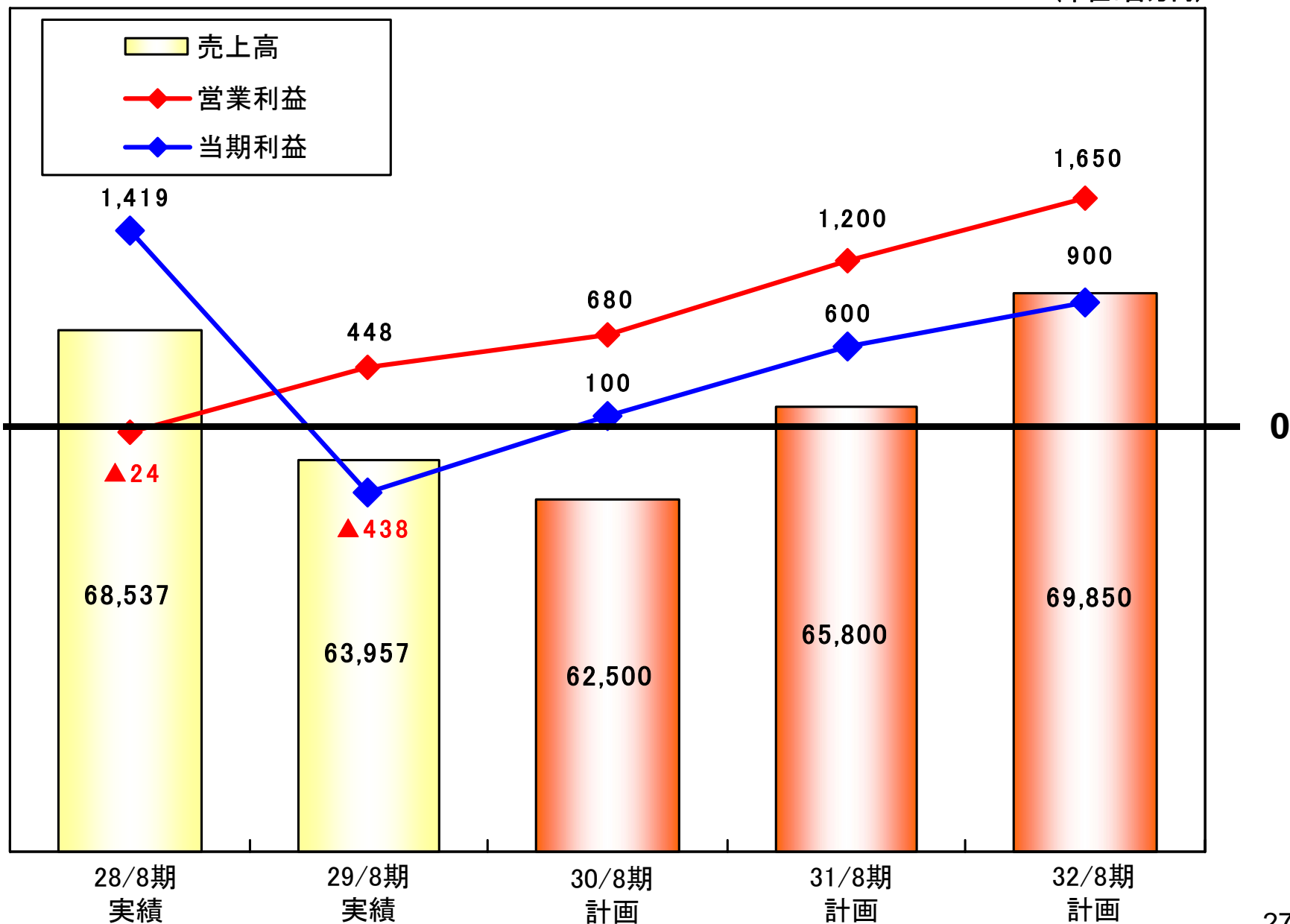
当面は、収益源である「既存店舗対策」を強化し、「店舗改装」を最重点に取り組む

（単位：百万円）

	28/8期 実績	構成比	29/8期 実績	構成比	30/8期 計画	構成比	31/8期 計画	構成比	32/8期 計画	構成比
売上高	68,537	100.0%	63,957	100.0%	62,500	100.0%	65,800	100.0%	69,850	100.0%
営業利益	▲24	▲0.0%	448	0.7%	680	1.1%	1,200	1.8%	1,650	2.4%
経常利益	▲73	▲0.1%	382	0.6%	680	1.1%	1,210	1.8%	1,660	2.4%
当期純利益	1,419	2.1%	▲438	▲0.7%	100	0.2%	600	0.9%	900	1.3%
新規出店数	16 店舗	—	14 店舗	—	25 店舗	—	10 店舗	—	10 店舗	—
改装店数	54 店舗	—	67 店舗	—	50 店舗	—	20 店舗	—	20 店舗	—
閉店数	53 店舗	—	40 店舗	—	30 店舗	—	20 店舗	—	20 店舗	—
期末店舗数	541 店舗	—	515 店舗	—	510 店舗	—	500 店舗	—	490 店舗	—

通期連結売上高・営業利益・当期純利益の推移表

(単位:百万円)



【将来見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績見通し等に関する記述内容につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

従いまして、実際の業績等は、様々な要因により大きく変動する可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要因としては、当社グループを取り巻く経済・社会情勢や市場環境、会計基準や法律・諸制度の変更などがあります。さらに、自然災害などの予測不可能なリスク要因も含まれております。

また、当資料は、当社グループをより深く理解いただくために、株主、投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、必ずしも投資をお勧めするものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

**IRお問い合わせ先****担当部：株式会社大庄 経営企画部****電話：03-5764-2229****FAX：03-5764-2237**